

科目番号	52019	分類	生殖健康学	履修者	高度実践助産コース	学年	1	
科目名	国際助産学特論 (International Midwifery)					1		
						配当シスター 後期		
担当者	○橋本 美幸、宮崎 文子 高橋ゴールドマン浩美、	区分	助産師免許取得プログラム	選択	単位	1	時間数	15
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連		
【概要】 国際社会におけるリプロダクティブヘルス・ライツ (Reproductive Health and Rights) の問題を知り、国際保健活動など国際支援の現状を理解する。世界の出生事情を俯瞰し、助産師活動における異文化的な視点から国内外の助産活動・助産ケアについて考える。						1. 自律して自然分娩の支援ができる能力		
【目標】 1. 世界の助産実践と助産師教育の概要を知る。 2. 国際社会におけるリプロダクティブヘルス・ライツの問題と支援を理解する。 3. 世界の産育習俗について社会・文化的背景から考察する。 4. 助産活動における異文化問題についての考察と対策について考えることができる。						2. 院内・院外助産システムを担うことができる能力		
						○ 3. 女性の生涯にわたる健康を支援できる能力		
						4. 周産期の救急時に対応できる能力		
						○ 5. 他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力		
						○ 6. 研究・開発能力		
						○ 7. 倫理的意思決定能力		
授 業 計 画								
回	内 容						担当教員	
1回	国際助産学概要 助産師教育のためのモデルカリキュラム						橋本	
2回	国際母子保健における助産師の役割 世界の助産実践と助産教育 (1)						橋本	
3・4回	世界の助産実践と助産教育 (2)						宮崎	
5回	イギリスの助産師教育と助産実践						高橋ゴールドマン浩美	
6回	助産・出産の文化人類学 異文化助産ケア、異文化コミュニケーション イーミック (emic) ・エティック (etic) アプローチ						橋本	
7回	文化的視点からみる助産ケア・子育て支援を考える							
8回	医学モデルと助産モデル							
事前・事後学習	事前学習：助産師教育のためのモデルカリキュラム一読しておくこと 事後学習： 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。							
評価の方法	レポート(60%)、討論・発表 40%などから総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。							
参考図書・資料等	◎助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 我部山キヨ子他 第5版 2016年 医学書院 助産の文化人類学 プリジット・ジョーダン著 日本看護協会出版会 ◎は授業の必携図書ですので、購入していただきます。							
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。							